

人間魚雷「回天」とは

「回天」とは、魚雷に大量の爆薬を搭載し、人間が直接操縦して敵艦に体当たりするという特攻兵器です。太平洋戦争の末期“天を回らし、戦局を逆転させる”という願いを込めて誕生しました。

「回天」の搭乗員の訓練基地の一つがおかれた大津島には、全国から20歳前後の若者が集まり、毎日厳しい訓練を繰り返しました。そして、窮地に立つ祖国を守るため、出撃していきました。



訓練基地のプラットフォームに運ばれてきた「回天」

MAP (馬島港～回天記念館)



利 用 案 内

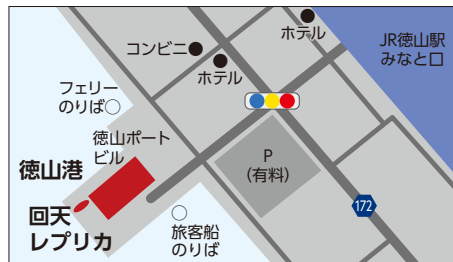
- 開館時間 8:30～16:30
- 休 館 日 毎週水曜日（水曜日が祝日の場合はその翌日）
12月29日～1月3日

■入 館 料	大人	310 円
	団体（30 人以上）	250 円

※学生など、その他詳しくはこちら



- アクセス（徳山港まで）
 - ・JR 徳山駅新幹線口（みなと口）から徳山港まで徒歩約 5 分



- アクセス（記念館まで）
 - ・徳山港から馬島港までフェリーで 44 分
 - ・旅客船で 18～34 分（通常期）
 - ・馬島港から回天記念館まで徒歩約 10 分
 - ・船賃や運航時間などについて（大津島巡航ホームページ）



周南市回天記念館 KAITEN MEMORIAL MUSEUM

〒745-0057 山口県周南市大字大津島1960番地
TEL・FAX: 0834-85-2310
E-mail: bunka@city.shunan.lg.jp
<https://www.city.shunan.lg.jp/site/kaiten>

回天記念館
ホームページ



2024. 11

回天記念館とは

回天記念館は、太平洋戦争末期に開発された人間魚雷「回天」搭乗員の遺書・遺品、関連資料などを展示し、平和の尊さと命の大切さについて考えていただくことのできる平和学習施設です。

「回天」搭乗員の遺品の収集・保存展示のために、昭和40年から建設資金を集める活動が開始され、寄せられた資金を基に昭和43年に完成・開館しました。その後、展示スペースの拡張、周辺整備を行い平成10年にリニューアルしました。

当館では、館内を7つのセクションに区切り、それぞれのテーマに従ってパネルでの解説と「回天」搭乗員の関連資料などを展示しています。



現在の回天記念館



1 激動の時代のなかで

日中戦争開始から太平洋戦争に至る、国内外の状況が悪化していく様子をパネルで紹介しています。
搭乗員の幼少期、海軍兵学校・海軍機関学校時代、軍隊入隊後の教科書や資料を展示しています。



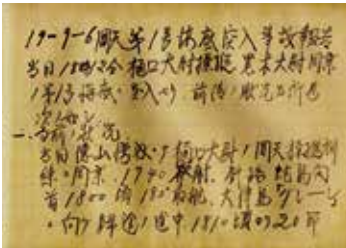
芝崎昭七二等飛行兵曹の自啓録



学徒出陣時に贈られた日の丸

2 祖国を救うために

回天の誕生に関わった兵士の想い、搭乗員の出身母体をパネルで紹介しています。
飛行予科練習生を対象にした搭乗員の募集要項や訓練中に回天が海底に底着した事故で殉職した黒木博司大尉が回天内で事故を記録したノート、戦死した搭乗員などの遺影を展示しています。



黒木博司大尉の事故を記録したノート



戦没隊員遺影

3 基地での生活

基地の配置、訓練を行った海域、訓練内容がわかるジオラマのほか、実物の回天のハッチや潜望鏡を展示しています。
2006年公開の映画「出口のない海」で撮影に使用されたロケセットは、アメリカに残る実物を参考に操縦室内を忠実に再現しています。

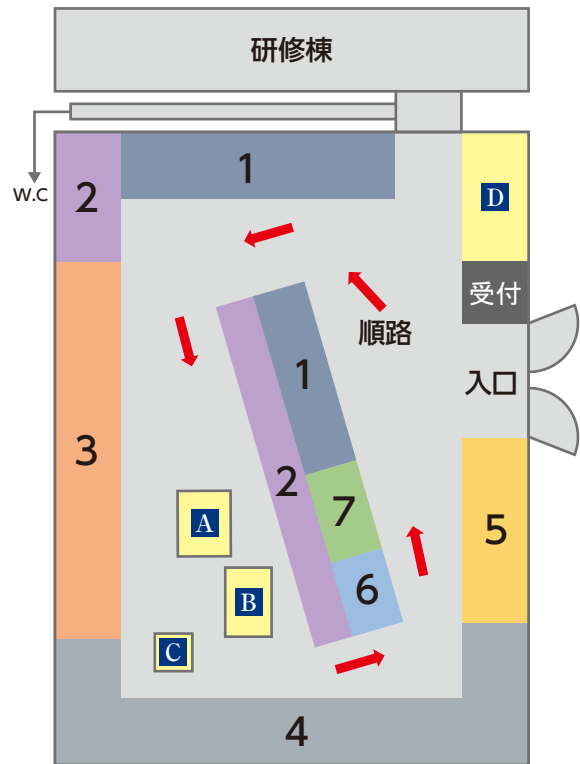


ジオラマ



ハッチ

館内案内図



A デジタルミュージアムシステム

展示されていない資料も閲覧することができます。



B 回天操縦席（ロケセット）

映画「出口のない海」の撮影で使用された操縦席のロケセットです。アメリカに残る実物を参考に操縦室内を再現したものです。



C 回天搭乗員の音声（肉声）再生装置

回天搭乗員の肉声を再生する装置です。音声データは、回天搭乗員の中で唯一残されている塚本太郎少尉の肉声です。（およそ2分30秒）



D 視聴覚コーナー

元搭乗員たちが「回天」について語る映像「時代の証人」をご覧ください。（およそ25分）



4 出撃

隊名、出撃場所、本土決戦に備え配備された基地回天隊の展開場所を図表で示しています。
出撃前の短刀授与式、鉢巻受領、記念撮影時の品物や写真を展示しているほか、装置で搭乗員の肉声を聞くことができます。



短剣



出撃する搭乗員

5 戦後社会と回天

戦後間もない混乱期の日本や機密であった回天の情報が一般の国民に報じられ始めたことを紹介しています。



初代回天碑
（昭和20年11月10日建立）



回天を報じた中国新聞
（昭和20年10月5日）

6 新たな時代に向かって

世界平和を目指して国際連合が組織されたことや当時の世界情勢などを紹介しています。



回天記念館完成式典

7 平和を願う回天のころ

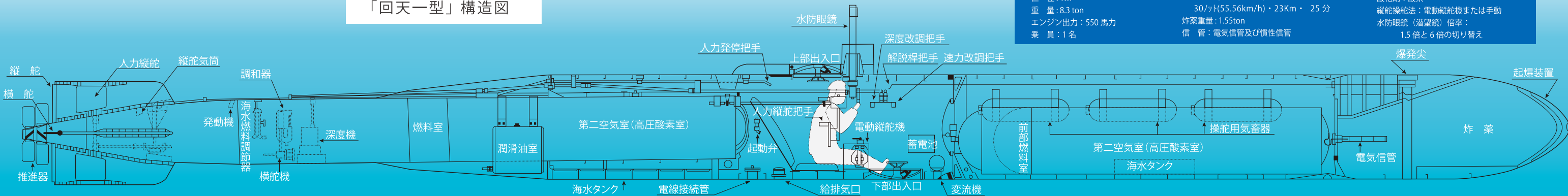
搭乗員の想いをパネルで紹介しています。

回天記念館敷地内マップ



- ①搭乗員から母と慕われた「お重さん」を後世へ伝えるため植樹された桜
- ②回天に搭載された九三式酸素魚雷のエンジン（実物）
- ③実物と同じサイズの回天一型レプリカ
- ④全国からの寄付により建設された回天碑
- ⑤戦艦陸奥の薬きょうなどにより鑄造された平和祈念の鐘
- ⑥搭乗員や整備員などの名前が刻まれている銘碑

「回天一型」構造図



【主な性能（一型）】

全 長：14.75m
直 径：1m
重 量：8.3 ton
エンジン出力：550 馬力
乗 員：1 名

速度・航続距離・航続時間

10ノット(18.52km/h)・78Km・253 分
20ノット(37.04km/h)・43Km・70 分
30ノット(55.56km/h)・23Km・25 分
炸薬重量：1.55ton
信 管：電気信管及び慣性信管

搭乗口：上部及び下部にそれぞれ1カ所

燃 料：ケロシン（灯油）
酸化剤：酸素
縦舵操舵法：電動縦舵機または手動
水防眼鏡（潜望鏡）倍率：1.5 倍と 6 倍の切り替え